

2025 年期 第 2 回課題研究テーマ（東海実務補習所）

テーマ	<p>第 1 問</p> <p>有価証券報告書における「注記」の意義及び必要性について説明しなさい。 (200 字以内)</p>
	<p>第 2 問</p> <p>下記の前提条件に基づいて、A 社の 2025 年 3 月期の有価証券報告書の開示について説明しなさい。（前提条件で触れていない事項は考慮外とする。）</p> <p>【前提条件】</p> <ul style="list-style-type: none">・ A 社は連結財務諸表を作成している上場会社である。・ A 社は 2024/7/1 に Z 社（上場会社）と資本業務提携契約を締結するとともに、Z 社と A 社で第三者割当増資によりお互いの発行済株式数（当該増資後）の議決権の 10% を取得し、Z 社からの仕入を開始した。・ 上記の株式取得により、Z 社は A 社にとって「大株主」かつ「主要株主」に該当することとなった。・ Z 社株式は、A 社の連結貸借対照表で「投資有価証券」として計上されている。・ Z 社株式は特定投資株式に該当し、A 社の保有する投資有価証券の貸借対照表計上額の大きい順で 60 銘柄に含まれる。・ Z 社の株式取得は A 社にとって重要な契約である。 <p>（1）A 社の有価証券報告書の連結財務諸表の注記において記載すべき事項を、根拠となる会計基準等を示しつつ説明しなさい。（500 字以上 800 字以内）</p> <p>（2）A 社の有価証券報告書の「第 1 企業の概況」から「第 4 提出会社の状況」において記載することが考えられる事項について、項目名（※）および記載内容を説明しなさい。（500 字以上 800 字以内）</p> <p>※ 項目名の例) 「第 1 企業の概況」の「2 沿革」</p> <p>第 3 問</p> <p>第 2 問に記載の仕入に関する関連当事者注記について、監基報 550 「関連当事者」に基づき想定されるリスク対応手続を説明しなさい。（400 字以上 600 字以内）</p>
	以上